

別紙－ 1

総合評価方式(標準型) 落札者決定基準

(県内・県外混合)

総務部 危機管理・消防課

工 事 名

令和6年度 危消 第1号-3

和歌山県消防救急デジタル無線システム・県多重無線網付帯設備再整備工事

工 事 場 所

和歌山県内全域のうち県が指定する場所

予 定 価 格

事後公表

工 事 概 要

消防救急デジタル無線システム・県多重無線網に付帯するネットワーク設備、監視制御設備、電源設備の整備施工箇所 57か所

各評価項目の選定理由

本工事で施工する機器は、和歌山県消防救急デジタル無線システムだけではなく和歌山県全県移動系防災行政無線等でも使用する重要な共通基盤の一部であり、システムを稼働させながら切替等の作業が必要となるため選定した。

価格以外の評価点

評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点	備考	
具体的な技術提案	(1)ネットワークシステムの安定稼働についての提案	評価内容に対して最大5提案とし、5提案を超えた提案項目は加点評価としない。 評価については、原則として各提案毎に和歌山県消防救急デジタル無線システム及び和歌山県多重無線設備の運用状況を踏まえて、技術提案の工夫による効果について確実性と重要度により評価する。	0～5	／ 5.0		
		小 計		／ 5.0		
企業の施工能力	(1)和歌山県発注工事の契約後VEの採用実績の有無	①実績あり(工事費の2％以上の縮減実績)	1.0	／ 1.0	※同種工事はネットワーク設備を含む電気通信工事とする。 ※対象は過去15年間とする。 ※工事成績が確認できない場合又は65点未満のものは評価の対象としない(0点とする)。	
		②実績あり	0.5			
		③実績なし	0.0			
	(2)県内での優良施工実績	①国土交通省発注県内工事、和歌山県発注工事での実績あり(工事成績80点以上)	2.0	／ 2.0		
		②同上(工事成績75点以上80点未満)	1.5			
		③同上(工事成績70点以上75点未満)	1.0			
		④同上(工事成績65点以上70点未満)	0.5			
⑤上記以外		0.0				
小 計		／3.0				
配置予定技術者の能力	(1)過去4年間の工事成績の平均値	①75点以上	1.0	／ 1.0	※配置予定技術者が主任(監理)技術者又は特例監理技術者として担当した契約額が1,500万円以上の工事を対象とする。 ※主任(監理)技術者又は特例監理技術者として担当した対象工事が無い場合は、主任技術者に成り得る資格を有し、現場代理人又は監理技術者補佐として担当した契約額が1,500万円以上の工事を対象とする。 ※対象となる工事成績がない場合は、65点とする。	
		②55点以上75点未満 1.0×(工事成績の平均値-65.0)/10.0	1.0 ～ -1.0			
		③55点未満	-1.0			
	(2)継続教育(CPD)の取り組み状況	①当該工事の主任(監理)技術者と成り得る資格に関する建設系継続教育の証明あり(各団体推奨単位以上の取得)	1.0	／ 1.0		※建設系継続教育は「建設系CPD協議会」に加盟し、推奨単位を設定している団体」とする。
		②建設系継続教育の証明あり(各団体推奨単位以上の取得)	0.5			
		③なし	0.0			
小 計		／2.0				
地域貢献	(1)本店の有無	①和歌山県内に本店を有する	1.0	／ 1.0	※「過去3年間」とは、工事成績評定結果通知書の発行日が入札書を提出した日から起算して過去3年以内を対象とする。 ※「過去1年間」とは、工事成績評定結果通知書の発行日が入札書を提出した日から起算して過去1年以内を対象とする。	
		②上記以外	0.0			
	(2)県産品、リサイクル製品の積極利用	県産品、リサイクル製品	①過去3年間に工事成績評定結果通知書により「県産品、リサイクル製品」による加点評価(2.93点以上)のあった同業種の工事の件数が 5件以上あり 同 2件以上5件未満	1.0 ----- 0.5		／ 1.0
			②過去1年間に工事成績評定結果通知書により「県産品、リサイクル製品」による加点評価(2.93点以上)のあった同業種の工事の件数が 1件以上あり	1.0		
			③仕様書に明記している県産品を全数使用した上で、仕様書に明記していない県産品建設資材または県産認定リサイクル製品を1品目全数使用を提案	1.0		
			④上記①②③以外	0.0		
	小 計		／2.0			
合 計		／12.0				

標準点(基礎点)

100点

加 算 点

換算は行わない

技 術 評 価 点

標準点(基礎点)+加算点

評 価 値

(技術評価点／入札価格(千円))×10<sup>3</sup>

※

・評価値は、小数第5位を四捨五入し、4位止めとする。  
・過去4年間の工事成績の平均値は、小数第1位を切り捨て整数止めとする。  
・本店の有無で、本店とは主たる営業所(建設業を営む営業所を統括し、指揮監督する権限を有する1箇所の営業所をいう。)をいう。